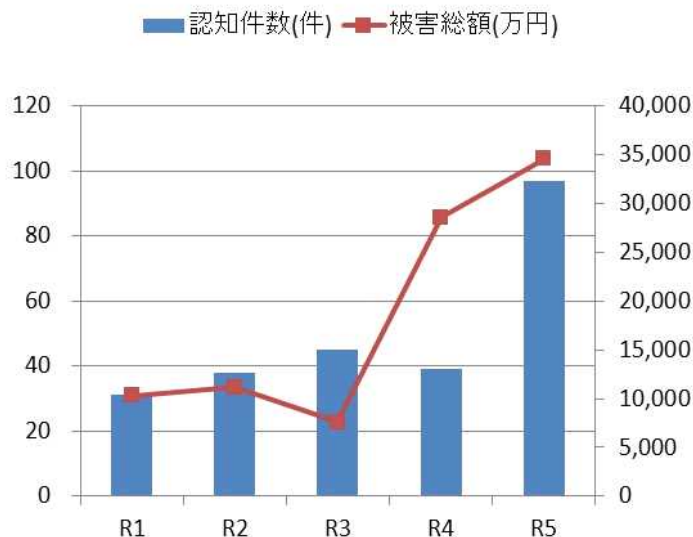


## 令和5年中における特殊詐欺の認知・検挙状況について（確定値）

### 1 県内の認知状況

#### (1) 認知状況の推移

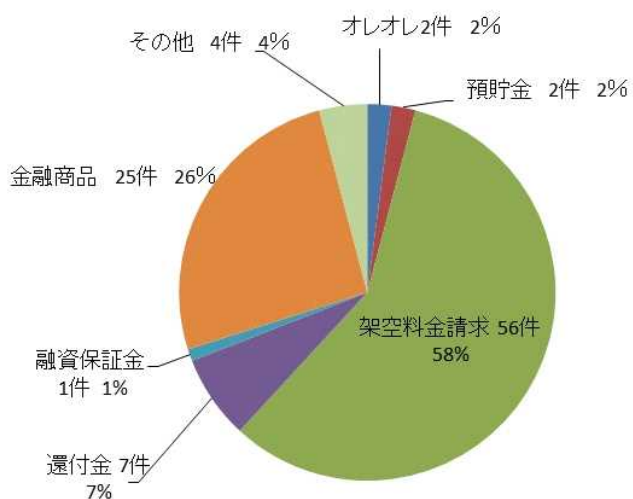


	R1	R2	R3	R4	R5
認知件数(件)	31	38	45	39	97
被害総額(万円)	10,280	11,174	7,584	28,607	34,564

※ 認知件数・被害額には窃盗（キャッシュカード詐欺盗）を含む。

○ 認知件数・被害額ともに増加している。

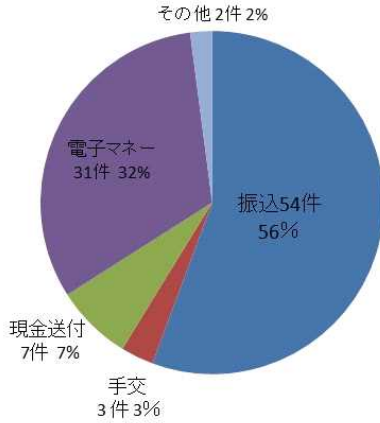
#### (2) 手口別の認知状況



	R4	R5	前年比
オレオレ	3	2	-1
預貯金	1	2	+1
架空料金請求	23	56	+33
還付金	5	7	+2
融資保証金	2	1	-1
金融商品	3	25	+22
ギャンブル	0	0	±0
交際あつせん	0	0	±0
キャッシュカード詐欺盗	1	0	-1
その他	1	4	+3
計(件)	39	97	+58

○ 架空料金請求詐欺の認知件数が最も多い。（全体の6割）

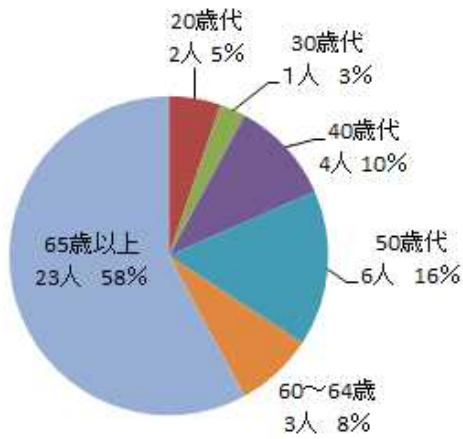
(3) 交付形態別



	R4	R5	前年比
振込	19	54	+35
手交	4	3	-1
現金送付	9	7	-2
電子マネー	6	31	+25
キャッシュカード窃取	1	0	-1
その他	0	2	+2
合計(件)	39	97	+58

○ 振込型・電子マネーを利用した被害が増加した。

(4) 被害者の年齢



年代	R4		R5		前年比
	男	女	男	女	
10歳代	0	0	0	0	±0
20歳代	1	1	3	7	+8
30歳代	1	0	6	2	+7
40歳代	2	2	5	10	+11
50歳代	2	4	6	7	+7
60~64歳	0	3	7	6	+10
65歳以上	3	20	21	17	+15
合計(人)	9	30	48	49	+58
	39		97		

○ 65歳以上の高齢者の被害者が最も多い（全体の約4割）

2 県内の検挙状況

区分	R1	R2	R3	R4	R5	前年比
検挙件数(件)	25	36	10	13	17	+4
検挙人員(人)	9	8	4	4	6	+2

○ 検挙件数・人員には窃盗（キャッシュカード詐欺盗）を含む。